

ねん なつやす  
2025年 夏休み

# かなぶん キッズクラブ

参加無料

各日午前 10:30 から (開場 10:00) ※休憩をいれて約 1 時間です

主催 = 県立神奈川近代文学館、(公財) 神奈川文学振興会

8/14 (木) こ 8/15 (金) えい が かい  
子ども映画会

会場: 展示館 2 階ホール 定員: 220 名

8/14

■ **プクドン交響楽** ウォルト・ディズニー・プロダクション 12分

ふくろうはかせが、音楽にあわせて、楽器がどうやって生まれたのか、どんなふうにかたちが変わってきたのかを、楽しくおしえてくれます。

■ **うかれバイオリン** イギリス民話 学研 20分

はたらき者のハンスは、お父さんがのこしてくれた土地を出ていこうと言われてしまいます。まちで勉強しようと出かけたハンスは、森で出会ったおじいさんたちを助け、おれいにふしぎなバイオリンをもらいますが……。

■ **海ガメさんのちえ** 北星 20分

子ガメのマックスは、けがをしたお母さんのために、どんなけがも病気もおす「赤い木の実」をさがします。でも、ゾウのゴーマンがその実をひとりじめして……。

8/15

■ **おかあさんのふえ** 椿宗介・高島純 原作 10分

石の笛を手に、お母さんをさがして旅をしていた女の子。とちゅうで出会った動物たちも、やさしい笛の音でお母さんを思い出し、いっしょにさがしに行くことにしました。

■ **パラダイス** カナダ国立映画制作庁 イシュー・パテル 作 16分

むかし、ある国の王さまが住むおしろに、ふしぎな色やすがたにわかりながらおどる鳥がいました。森に住む黒い鳥は、その美しい鳥をうらやましうに見つめていましたが……。

■ **ぼくは王さま** 寺村輝夫・和歌山静子 原作 東映 20分

「おしゃべりなたまごやき」ニワトリ小屋のかぎを開けて、ニワトリをにがしてしまった王さま。たちまちおしろの中が大さわぎに!

「王さまタクシー」タクシーの運転手になった王さま。はりきってまちに出かけてお客さんを乗せますが……。

8/2 (土) ~ かなぶんひろば

※申込不要。  
展示観覧料  
が必要です。

9/23 (火・祝) 会場: 展示館 1 階 エントランスホール

「さがして・こたえて・あつめよう!」「てがみをかこう!」などの  
体験コーナーを用意しています。

贈り物  
おとうちゃんからの  
手紙展  
中島敦の

2025年 8月2日 [土]  
— 9月23日 [火・祝]

【開館時間】 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)  
【休館日】 月曜日 (8月11日、9月15日は開館)  
【観覧料】 一般 500 円ほか、中学生以下無料  
【同時開催】 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち 第3部 太宰治、三島由紀夫から現代まで」

しゅわ  
8/8 (金) 手話つきおはなし会

会場: 展示館 2 階中会議室 定員: 60 名

絵本の読み聞かせを手話を交えておこないます。  
絵本を楽しみながら手話も学べるおはなし会です。

出演: 加藤晴美 (一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟)  
長友由佳子 (神奈川県手話通訳者)

■ **ぶたぶたくんのおかいもの** 土方久功 作・絵 福音館書店

子ブタのぶたぶたくんはお母さんから、買い物をつたえられました。ひとりでパン屋さんについてパンを買い、八百屋さんに行くと、からすのかあこちゃんに会いました。こんどはかあこちゃんといっしょにおかし屋さんに行くと……。

■ **おにより つよい おれまーい** サトワ島民話 土方久功 再話・画 福音館書店

おれまーいは生まれるとすぐはいはいがで、4日たつと歩きはじめ、1月1日と大きくなって、村一番の力持ちでらんぼう者の子どもになりました。こわがった村人たちは、おれまーいを鬼の住む島に置いていってしまいますが……。

ほか

かみしばい  
8/22 (金) 紙芝居がはじまるよ!

会場: 展示館 2 階中会議室 定員: 60 名

出演: 山下 康

1943 年生まれ。横浜市在住。紙芝居を演じること、お話を創ること、絵を描くことの好きな仲間と共に「横浜紙芝居普及会」を創設。舞台俳優、声優としても活動中。

■ **おとうさん** スマトラの民話より 与田準一 脚本 田畑精一 画 童心社

南の島の魔物マンガラン・グリーン・ベカーは、川で遊んでいたお父さんとぼうやがうらやましくなり、お父さんに化けてぼうやをつれていこうとします。どちらが本物のお父さんか見分けるため、島の王さまがふたりに山のぼりを命じますが……。

■ **ななつのほし** トルストイ 原作 堀尾青史 脚本 小谷野半二 画 童心社

病気のお母さんに水をのませてあげたいと思った女の子は……。

■ **おだんごころころ** 坪田譲治 作、二俣英五郎 画、童心社

おじいさんのおだんごころころが地ぞうさまのもとへ。おだんごをあげると、地ぞうさまは「頭の上ののぼれ」と言います。

◎対象: 幼児~小学生とその保護者 (未就学児は要保護者同伴)

◎プログラムは変更になる場合があります。

参加申込み方法 \*満席などの情報はホームページなどでご確認ください。

お電話 (045-622-6666) またはホームページの申込フォーム (右の QR コード) で、希望日・代表者氏名・参加人数・電話番号をお知らせください。先着順で定員になり次第受付を終了します。



\*おもむ替えシート、授乳スペースあります。  
\*展示館 2 階ロビーに自動販売機がありますが、ごみはお持ち帰りください。

## 県立神奈川近代文学館



〒231-0862 横浜市中区山手町 110 TEL045-622-6666 <https://www.kanabun.or.jp>

ACCESS ※駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

〈東急東横線直通・みなとみらい線〉  
元町・中華街駅下車 6 番出口 (アメリカ山公園口) から徒歩 10 分  
〈バス〉  
・神奈川中央交通バス①系: 桜木町駅~保土ヶ谷駅  
・横浜市営バス②系: 桜木町駅~山手駅  
・観光スポット周遊バス「あかいくつ」  
いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩 3 分  
〈JR 根岸線〉  
石川町駅下車 元町口 (南口) から徒歩 20 分

